


# 地域の猫対策始めましょう

## 1. 事前準備


これから始めようとする地域の猫対策は

- ・ 地域において実施する、地域における生活環境保全のための取り組みであること
- ・ 地域に住む人みんなの問題であること
- ・ 飼い主の不明な猫を邪魔者として排除することが目的ではなく、飼い主の不明な猫の数を減らす取り組みであること。
- ・ 猫の数を減らすことで周囲への被害をなくし、周辺環境を良くしていくという、猫を迷惑に思っている人にも、猫好きの人にも共通の利益を示すものであること。
- ・ そして、人と猫が共生できる、地域として調和の取れたシステムをつくるのが目的であること。

等について、地域の会合等を利用し、合意を得ておきましょう。猫が好きな人も嫌いな人も活動に参加していただけるよう要請しておいてください。

飼い主のいない(不明な)猫にエサをやっている人の特定

エサやりをしている人にも主張があります。エサやりを否定したり、エサやりしている人を排除することは避けるようにし、取り組みに参加してもらうよう要請しましょう。

地域において、合意形成のための協議を実施する場合は、その旨センターに連絡してください。

関係行政機関と一緒に、また場合によっては、ガイドラインの趣旨に賛同できるボランティア、民間の団体等とも一緒に地域に出向き、今後の方向について一緒に協議しましょう。そして、取り組みを始める前に、地域内でその旨広報しておきましょう。

## II. 地域の調査

### 1 猫が多い原因を調べましょう

エサをやっている人がいるので居着いている、たくさんの猫を飼っている人がいて、不妊去勢手術がされていない、ごみ等が放置されている等々考えられる原因を調べましょう。

### 2 実態を把握しましょう

飼い猫や、飼い主のいない(不明な)猫の数、飼養の形態、苦情の内容、発生状況等をアンケート調査などにより把握しましょう。

### 3 専門家に協力を要請しましょう

取り組みの主体はあくまでも地域ですが、地域だけで実施しても期待する効果はなかなか得られません。動物愛護推進員、ボランティア等、経験豊かな方々に相談することを推奨します。

センター職員が地域自治会等への説明のため、現地にうかがうことができます。ご相談ください。

### 4 手法、目標を設定しましょう

地域での取り組みである以上、地域の理解が得られるような目標を設定する必要があります。手法として、不妊去勢手術をメインとするのか、譲渡をメインとするのか、いつごろまでに、地域で飼養する猫の数をどれほどにするのか、地域としてどのような状態を目指すのか、十分協議が必要です。

また、不妊去勢手術を継続的に実施するための予算の確保も必要です。